



静岡県立沼津商業高等学校同窓会  
〒411-0917  
静岡県駿東郡清水町徳倉1205  
TEL 055-932-5747 (FAX共用)

沼商あつての我が人生



磐田市長  
渡部 修  
(高三回)

卒業後、瞬く間に四〇年以上歳月が流れましたが、当時のことを今でも鮮明に覚えています。

様々な体験、出会いを重ね、以後の人生に大きな影響を与えてくれた時間がそこにありました。入学前、教師になる夢を抱いていた私は、家庭の事情により、泣く泣く進路を変え、就職を前提に沼商に進学しました。当初は嫌々の進学だったのですが、この三年間は実に素晴らしく、淡い初恋も経験し、青春の大きな一ページとなりました。部活動では柔道部に所属し、同期の高田君、高村君、一級後輩の秋山君のおかげで東部大会優勝、県大会準優勝、そして東海四県大会へも出場でき、彼らには今でも感謝し、同じく一番の誇りでもあります。

一方家庭は経済的に苦しく思春期に両親の離婚も体験した私は脱サラして起業し、少しでも家庭に豊かな生活をさせたく、昭和五四年に磐田に居を構えました。その後、良い時もありましたが、経営とは大変なもので、辛く苦しいことも多々ありました。そんな中、上の子がいじめに遭い、下の子が長い病気と、今思えば一番辛い時でした。しかし同時に、仕事人間だった私が家族や地域、学校等に関心を持ち、生き方に変化が見えたのもその頃でした。自分がPTA会長を務めていた中学校が荒れに荒れた時、保護者や地域の皆さんと助け合い、結果的には素晴らしい卒業式を送ることができ、役員を終えられたのも非常に貴重な時間であったと思います。

その頃からか、社会や地域により目が向き、二年後の平成七年に市議会議員となり、その後、十数年に渡る議員活動を経て、リーマンショック後の磐田市を立て直す役割を背負い、平成二一年に磐田市長に就任しました。現在の磐田市は、人口規模において沼津市に次ぐ県下五番目、サッカーJリー

グ「ジュビロ磐田」のホームタウンでもありません。私は市政運営の基本理念を「市民第一、現場第一、行動第一」とし、住んでよし、来てよし、働いてよしの総合力ナンバーワンの市を目指し各種施策に懸命に取り組んでいます。

さて気が付けば、昭和二六年生まれの私も一昨年六〇歳の節目を迎えました。この間、わずか三年間の沼商生活で得た友がどんな時間においても常に支えとなり、クラス会も毎年開催され、また沼商野球部の応援では、できる限り家内と共にスタンドで校歌を大声で歌っています。このような中、あの忘れもしない、東日本大震災から早一年以上が経過しました。私も現地を訪れ、想像を絶する光景を目の当たりにしましたが、普段の生活の有難さ、人と人との繋がりの大切さを今も強く感じています。今日に至るまで裾野から沼津、そして磐田と私の環境も変わりましたが、自分の周りには素晴らし

今年の同窓会総会・懇親会は  
七月二〇日(土)開催です。

次代に継ぐ沼商の底力をスローガンに第六〇回総会・懇親会が以下の日程で行われます。

- 開催日 七月二〇日(土) 十二時三〇分 受付
  - 場所 ホテル 沼津キャッスル
  - 講演会 一四時四〇分
  - 講師 東海大学教授 宮川千秋さん(高一八回)
  - 演題 「世界最速! ウサイン・ボルトに迫る」
  - 懇親会 一六時三十分~一八時三十分
  - 会費 七〇〇〇円
- (事前振込は六五〇〇円)  
詳細は総会幹事の赤井国彦さん(〇五五一九六二二四一三)まで。ただし日曜を除く昼間。

「丸子の杜」…1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

## 学生時代の思い出から現在



丹沢 潔

(高三回)

沼商に初めて経理科が新設された第一期生です。学校にはまじめに通っていましたが、勉強というより部活をやりについていたと云う方が妥当と思っています。入学当初はグラウンドも整備されておらず体育の時間にモッコを担いだ記憶も鮮明です。武道場も無く、しばらくの間丸子の道場へ通って稽古をしてました。当時自転車であつていた仲間と稽古の時間に遅れないよう竹刀を袈裟に掛け防具を荷台に結わえバスを追い越したものでした。当時、鬼のように強かつた先輩諸兄にしごかれ、東海四県にも出場できたことは感謝と良い思い出となっています。お陰様で五〇歳まで町の道場で剣道を続けられ感謝に堪えません。

ローバル化が一層加速しました。それまでのオイルショックなど何とか乗り越えてきた日本ですが、その後のバブル崩壊で壊滅的なダメージを受けました。良い高校、大学へ入れば良い会社へ入れ、安定した人生を送れるというキャリアアルートはすでに崩壊しています。誰もが知るいわゆる大手の会社でもはや安泰はないのです。ハローワークでカウンセラーとして職業相談をしていても、会社倒産やリストラなど数多くの現実を見てきました。今までは同窓ということで気に掛けていたOB、OGも自分の身を守るのも厳しい時代となりました。管理職とは名ばかりでノルマがかかり、成績を上げないと自分の身も危うくなっています。OA化により人は減り仕事量は増え、残業代はカット、管理職にいたっては残業代を払う必要のない労働者という位置づけとなっています。このような時代の流れの中で、沼商というブランドはどうなっているのでしょうか。胸をはって「沼商OB」ですと云えるでしょうか。

現在は、カウンセラーとして「リ・プロデュース タンザワ」を設立。また、カウンセリングを活かした地域貢献を目指し「静岡こころのサポートセンター」を立ち上げ同志と活動をしています。同窓諸氏でメンタルやキャリアに悩んでいる方はご一報下さい。

## 沼商を愛するみなさんへ



田口 泰子

(高五一回)

私は沼商では国際経済科、そして英語部に所属し、とにかく語学の勉強に打ち込んだ三年間でした。現在私は、三十一歳と歳を重ねましたが、十一か国語を話し、世界中の人々とコミュニケーションを取りながら、地域や国の真の発展のために様々な活動をしています。

最近、ご縁があつてお付き合いさせて頂いている方々の多くは、三十〜四十歳以上上の人生の先輩。長かつた不景気に元気を無くしてしまつた若者たちを憂い、「何とかならないものか」と心配している方々ばかりです。

「三十代」は、新しい家族を迎え、命の誕生とその成長を間近に感じ、そして親しい親族や知り合いと、時には別れも経験します。

親が高血圧や糖尿病、ガンなどの病気を発症し、おじいちゃん、おばあちゃんの介護をしながら慣れないことにオロオロしたり傷ついたり。また、自分自身が病気になるつたりして、「こんなはずじゃなかったのに」と苦しむこともあり。人生を揺るがすような出来事が次々と起こって、自分や周り

が信じられなくなったり…。忙しさの余り、ストレスを解消する時間さえ作れないことも…。

仕事でも、「中堅」・「ベテラン」の域に入り、社会的な立場も、家族への責任も、育児も…：いろいろなプレッシャーに押し潰されそうな毎日を過ごしているはず。一日、一日を「平凡」に送ることの難しさを痛感しながら私が思うことは、それは、誰かを「信頼」することの大切さです。

悲しいことが起きたり、世の中の矛盾に苦しんだり、大事な家族だからこそ言えないような悩みを抱えてしまつたり…。

そんな時、皆さん思い出して下さい。怖いものなんか何もなく、ただ、ただ楽しむことに一生懸命だつた沼商時代の三年間を。共に過ごした仲間たちのことを。私がいいます。みんながいます。

「信頼」とは、「信じて頼ること」。男女の枠を超えて「信頼して甘えることのできる」仲間が、周りに沢山いるということを忘れないで下さい。もちろん、私もその一人。皆さんに必要とされる時は、世界のどこにいても必ず駆けつけます。だから、皆さん。安心して一緒に手を繋いで歩いて行きましょう。世代は違えど、心強く、熱い思いを持つ先輩方が、大勢私たちを温かく見守っていて下さいます。頼もしい後輩たちが、そのエネルギーを分けてくれます。

## ■ 沼商を卒業して



大島 奈々

(高六四回)

私は高校を卒業したら就職したいという思いを持って、沼商に入学しました。沼商の先輩方が就職して頑張っている、沼商で取った資格がとても役立つと聞き、私も資格を生かして仕事に就きたいと思ったからです。

実際に沼商生になり、いろいろな資格にチャレンジすることができたことはもちろん、部活で仲間と協力して精一杯活動できたことや多くの先生方に応援していただいたりお世話になったりして、かけがいのない思い出がたくさんありました。沼商で過ごした毎日には私にとって全てが今につながっているものだと感じています。

現在の私は主に商品の受注や発注、電話対応などの仕事を行っています。沼商で勉強してきたことは職場でとても役に立っています。ワードやエクセル、情報処理を学び覚えたことが職場で活用できているからです。仕事の資料を作るときは、見やすく分かりやすいように作ることを心がけることができ沼商で勉強してきたよかったです。また、在学時に挨拶の大切さを学んだこともとても

役に立っています。部活で大きな声で挨拶するように、先生方によく注意を受けていました。また、学校内では「ワンストップブグリーディング」といって、止まって挨拶すると云うことを意識して行っていました。最初は慣れず、どうしても動いてしまいました。が次第に止まることができるようになりました。会社に入って先輩社員の方々が皆さん、お客様に大きな声で止まって挨拶して、沼商でやってきて良かったと思いました。会社のトイレに「挨拶は力の力を高める、挨拶は早い者勝ち：」など挨拶に関心する心がけが書いてあります。また上司に、お客様がいらしたときはお腹の底から声を出して挨拶するようにと指導を受けたことでもあります。挨拶は社会においても重要なことだと思います。

私は、まだまだ挨拶も仕事も未熟です。いつか同じ職場の先輩方のように、かつこ良くテキパキと仕事ができることを目標としています。これからは沼商で学んだことを生かし、自分を日々成長させていきたいです。具体的には、会社が化学系の会社なので、化学の知識をつけ、ワードやエクセルをさらに活用できたらと思います。仕事をしていくなかで辛いこともありますが、今後も乗り越えてゆき今の仕事を長く長く続けていきたいと思っています。

## ■ 目標をもつこと



西島 淑江

(高六四回)

早いもので沼商を卒業してもう一年が経ちました。卒業してから一年が経った今でも沼商で過ごした三年間の思い出が、最近の出来事のように思えます。

私は入学してから卒業するまでの三年間、一つでも多くの資格を取得し、それを生かせるような仕事に就きたいという目標を持っていました。自分の掲げた目標を達成させるため、いろいろな教科の中でも商業科目には特に力を入れて取り組みました。先生方は分からないところがあれば理解できるまで丁寧に説明してくださり、検定前には補習を開いたりしていつも私達を支えて下さいました。その支えがあったからこそ、私は三年間目標に向かって努力することができました。

私は現在セブナイレブンで会計担当として働いています。沼商で得た目標に向かって努力するといふ姿勢は日々の仕事の中でも大きな糧となっています。私がしている会計担当の仕事は毎日お店から提出されてくる伝票の処理をした後、お店を会計面でサポートした

りする仕事です。お店の経営成績に関わるとも責任重大な仕事であり、正確な会計処理が求められます。働くというのは私が高校生の時思い描いていた以上に大変なことだと感じました。入社して四ヶ月が経ち、会計担当として独り立ちした頃は自分に任せられた責任の重さにすっかり向き合うことができず悩んだこともあり、その時に高校三年の就職試験の時期のことを思い出しました。第一期のことであつたセブナイレブンを受けることが決まり、家族や友達、多くの先生方から「頑張れ」と応援してもらったのです。就職が決まった時にも多くの人から「おめでとう」と声をかけてもらいました。多くの人の支えがあつたからこそ自分が希望した会社に就職できたのだと改めて気づきました。その人たちに「恩返し」という意味を込めて、悩んではかりいらないで前向きに頑張っていこうと思えました。ただ漠然と毎日仕事をやるのではなく、どんなに小さなことでも何か目標を持って取り組むことで前向きにもなれるし、成長にも繋がると分かりました。

これからの長い人生の中で大きな困難にぶつかることもきっとあります。しかし、どんな大きな困難にも前向きに立ち向かえるような強さを持つて行きたいです。

## 私の主張 「食を考える」



須磨 満

(高一七回)

私は陶磁器販売に関わって四半世紀が過ぎました。「食」の在り方について「食器」を通じて思うことを記してみたいと思います。

「日本食」、「洋食」、「中華」等「料理」に関する言葉は多様で、それに伴って様々な食器が求められ製造され市場に流通しています。飲料器を細分すれば「茶器」、「酒器」、「ソフトドリンクボトル」などに分けることができ、その材質は「陶磁器」「ガラス器」、「木製漆器」、「金属器」、「合成樹脂」など、これまた多種多様です。食器は食卓の上で使われ、所謂「テーブルウェア」と言う言葉で語られることが最近多くなり、「テーブルコーディネートネーター」などという職種が目立つようになってきました。

これらの事から現代の「食」がとりわけ、グローバルに世界的に複雑化していることに気づかれるでしょう。つまり一九六〇年代までは概ね「日本食」であり飯碗、汁碗、湯のみ、皿鉢、箸が家庭の食卓の上での主役でした。

それはまた、江戸時代から基本的には変わることのない米飯中心

の食膳でした。

そこには「ガラス器」「金属器」、「合成樹脂」の材質は少なく、コーヒーカップなどの「洋食器」はどちらかと云えば稀でした。

一九七〇年代になるとインスタント食品の「ラーメン」、「カレー」、「コーヒー」などの販売に伴って、そこに家庭洋食器が「ホームセツト」として月賦、分割などで大量に販売されるようになりました。

戦後の物不足から豊かな「食」を目指して各家庭で「洋食器」、「ガラス器」を求め始めます。その背景には「高度成長」による購買力が下地にあり、アメリカの占領政策に起因するメディアコントロールによる、アメリカ製テレビ番組の影響が伺えます。

「コカコーラ」飲料のボトルに口をつけ、所謂ラップ飲みは、現在のペットボトルの使用状況を思うときその端緒だともいえるでしょう。しかし映画「三丁目の夕日」に語られるような温もりは、作者のイメージであり、作られた幻影であるとその時代を生きた一人として指摘したいと思います。

むしろ一九六〇年代、一九七〇年代の「文学」や「映画」、「音楽」が当時の生活のありようを教えていることに現代に生きる者として意味があることと思えるのですが。

一九八〇年代から一九九〇年代は食器に「質」が求められました。

世界各地から新しい食材が輸入され、それに伴い、それと相応しい「文化」を感じさせる器物が求められてきました。ボルドーワイン、ブルゴーニュなどのワインには専用のワイングラスという訳です。

別けても「コーヒー専門店」ブームが全国に波及し、ポーンチャイナとクリスタル材質のカップ、グラス類が大量に普及して行きます。国内メーカーではノリタケ、ナルミ、ホヤクリスタルなどがあり、イギリスのウエジウッド、フランスのパカラがその象徴でした。

しかし、大企業による外食産業の参入による「ファミリーストラ」の全国展開により低価格、大量消費の市場が形成され、外資系チェーンなどがコーヒーマシーンを導入し、ネルドリップコーヒーの個人営業の現状は衰亡しつつあるといえます。

この時代、家庭用では来客接待のための飲食器が五客単位で求められ、応接間にはタバコセット、ウイスキーセットなどが定番商品として並び、茶器は家庭の必需品となり、花嫁道具としてディナーセット、ホームセットの五人具揃いは「人気商品」になりました。

二〇〇〇年代に入り「バブル経済」崩壊により経済が低迷し、牛肉の「BSE問題」、「産地偽装事件」等の「食」の不安、不信任に陥りました。また輸入食品と国内食品の比率が大幅偏り、現在国内

品が四〇%を切ることは周知の事実であります。しかも冷凍技術の進歩により「加工食品」の割合が増大し、あらゆる食材が海外頼みと成っているのも、大資本の「食」への参入結果であると思つていきます。

それに伴って綺麗に印刷された「包装容器」が食器となり、直接食卓に上ることもあるといえます。

飲料も「缶」「ペットボトル」を直接口につけることが日常化しています。コンビニの弁当は、まさにその象徴であると思うのは食器屋の戯言でしょうか。

消費者が自立的に運営しているとされている「生協」が関わる「中国製冷凍ギョーザ」中毒事件は、販売元が「JTTタバコ産業」という民営化された大企業である所に事の本質があると思ひます。

低価格、大量消費を前提とした利潤追求の体質をその原因と考えるならば食料生産の自給率を高め、「食」を核とする「地産地消」を含めた地域作りが、時間をかけても求められていると考えられます。

その条件は私たち一人一人が日々の生活の中で、未来への想像力を高めることに求められていると考えます。他者を見つめる眼差し、生産者に感謝する心、過去から知識を学び生活を豊かに愉しくすることも一方法と思つていきます。

それには「日本国憲法」が示す平和であることが前提となります。



# 支那だより

◆富士支部◆

## 「沼商ふじの会」活動状況

会長 坂本 實(高一一回)

当会は平成一四年「沼商ふじの会」として発足し一〇年の節目を迎えました。関係各位のご協力の賜と心より御礼申し上げます。平成二四年度通常総会は昨年六月三日実施いたしました。文化講演は佐治妙心師をお招きし「さくらの花びら折りのころ」と題した平和と人間愛をテーマにお話を頂き一般参加者と共に感銘を共有することが出来ました。一〇月には文化事業として第六回「沼商寄席」を開催しました。立川文志師匠(高一一回)の構成による演芸、名演奏に楽しい一時を過ごすことが出来ました。



新しい一〇年を迎えるには会員の高齢化等不安材料は有りますが会員の知恵を結集し前進をはかる所存です。九回に及ぶ文化事業開催により、地域の方々の認識も深まったと自負しております。楽しい企画を提供し地域の皆様のご協力をいただき「ふじ」に密着した活動を推進したいと考えております。

◆裾野支部◆

## 地域貢献事業の一環として

―「深良中」に寄付金、

南小の藤棚整備―

支部長 大庭 敏克(高一一回)

裾野支部は、地域貢献活動の一環として市内の学校等の支援事業に取り組んでいます。今回の寄付は、三五〇年前に箱根芦ノ湖から隧道を掘り水を引いた歴史的遺産深良用水と建設に尽力した先人の遺業を顕彰する創作劇『いのちの用水』に取り組んでいる深良中学校に衣装等資機材の補充費用の支援を目的に全校生徒の前で学校長と生徒代表に支部会長から二〇万円を寄附しました。

また、平成一八年に南小学校開校記念に地域貢献事業の一環として寄贈した藤棚を、支部有志が残暑厳しいなか剪定及び草刈りを行いました。職人並みの手際の良さで景観が見違えるようになり、小学校から大変喜ばれました。



◆熱海支部◆

## 支部の現状について

支部長 志方日出太郎(高一二回)

当支部は、昭和三七年前支部長の杉崎三郎先輩(高七回・元熱海市収入役)の同窓生一〇名の方々が初代幹事となられ、当時の名簿を基に、母校と地域発展のため、以後持ち回りで毎年三月新卒業生を迎え、半世紀もの永きにわたり開催されております。

当初は当番幹事制をとって卒業生が輪番で準備を進めておりましたが、近年の卒業生の減少と女性卒業生の増加で、一〇年程前から常任幹事制となり、各層の中から自営業、公務員等地元で活躍の一〇名程の会員が中心となり本会の維持・運営に当たっております。

現在まで開催できたのは、この方々の努力と、先輩、母校の本部役員、学校関係者のご理解、ご協力の賜と感謝いたしております。

今後、地域に残る卒業生の減少が懸念される中で、困難も予想されますが、一人でも多くの会員の皆様の出席を希望しております。



ちよつと一言

## ただいま板前修行中!



橋本有嫁理 (高六四回)

沼商を卒業してもうすぐ一年が経とうとしています。

私は現在、「すし海鮮うお亭」で調理の仕事を担当しています。

入社時は包丁の扱い方や魚の名前もまるっきり分からず、自分でもどうしてこの仕事を選んだのか不思議に思ったこともありましたが、しかし、日々店長や先輩方に温かくご指導していただく内に、今では自分専用の包丁を持ち、自分で包丁を研げるようになり、切れ味の良さに感動しています。そして魚の名前も店で扱うものは分かるようになりました。

現在私は茶碗蒸し、サラダ、デザート(あんみつ)などを作ったり、各コース料理の焼き物・揚げ物などの盛りつけのお手伝いをしたりしています。

この仕事は勤務時間が長く、お盆やお正月の休みもないため、決して楽ではありませんが、一つの料理をみんなで協力して調理し、お客様のものとへ提供できることにとてもやりがいを感じています。

まだまだ未熟な私ですが、日々の仕事を確実にこなして、少しずつ精進して行きたいと思っております。

# 後輩たちの活躍

## 全国大会・東海大会

### 出場おめでとう

#### — 全国大会出場 —

### ◆ ホッケー部

#### 高校総体ベスト8

#### 国民体育大会

私達にとってインターハイに出場できたことや、福井で過ごした六日間は大切な思い出であり、一人一人やチームを成長させてくれた忘れられない時間です。一回戦の相手は、九州の伊万里商業高校でした。私達の目標は沼商初の全国一勝をする事。全員が勝ちたいという思いで溢れていました。強い思いで臨みましたが、なかなか自分たちのプレーができず前半に三失点を許してしまいました。しかし、諦めている仲間は一人もいなく、全員が後半取り返して逆転しようという気持ちでした。そして後半、気持ち前面上に出たプレーで一点一点確実に決めていき、ついに追いつくことができました。引き分けになったところで試合は終了し、結果はペナルティストロークに委ねられました。結果でなく、無心でゴールを狙い、勝利しました。チームが一つになった瞬間は絶対忘れません。次の日も逆転勝利でベスト8という成績を収める事ができました。応援し

て下さった皆様、本当にありがとうございました。

部長 石倉花恋 (三年)



### ◆ 電算機部

#### 情報科学競技大会

団体の部 優勝 (五連覇)

個人の部 優勝 吉尾 雅貴

準優勝 大島わかかな

#### 情報処理選手権

団体の部 優勝 (四連覇)

個人の部 三位 吉尾 雅貴

第四回全国高等学校情報処理選手権で優勝し、今年で全国優勝四連覇を達成することができました。連覇は電算機部の伝統の一つであり、自分達が伝統を繋げられるかという不安は大きく、また直前の別の大会の結果は満足できるものでなかったため、そのリベンジも兼ねた大会でした。そのため、私もチームのメンバーも、いつもより気合いを入れ、練習に臨んで

いました。当日は、練習で培ってきた自分やメンバーの力を信じ、そこまで緊張せずに挑めました。二位とは点数差でしたが、メンバーの力があつたからこそ優勝を取れたと思うので、本当に感謝しています。しかし、今回優勝できたのはそれだけでなく、面倒を見て下さった先生方や先輩方のお陰だと思えます。私も先輩達のように後輩達にまだまだたくさんのお話を繋げていきたいです。そのために、先輩達から教えて頂いたことを後輩に伝えつつ、最後の大会に向けての練習をより一層がんばって行きたいと思えます。

副部长 田中真理子 (三年)



### ◆ 写真部

#### 民家の甲子園 審査員特別賞

今回私達写真部は、民家の甲子園静岡県大会で、静岡県教育長賞をいただくことができ、全国大会へと出場することができまし

た。私達はこの大会のために二年の十月頃より準備をしてきました。大会のテーマが「力」で、このテーマを表現するために私達が題材としたものは、「沼津垣」でして。沼津垣製作の講習会に参加させていただいたり、沼津垣のあるお宅へと写真を撮らせていただいたりと、沼津垣を知るため、出来ることから全てを行ってきました。沼津垣には竹を編み込む繊細さと、竹を折る力強さの両方の面を持つているといったことなど、地域の方にはたくさんのお話を聞かせていただきました。地域の方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。全国大会で特別賞という形でしか残すことができませんでしたが、プレゼン完成時の達成感と県大会とは違った緊張感、そして発表終了時のやりきった感を身をもって感じる事ができ、とても価値のある経験でした。

副部长 一本松優美 (三年)



◆簿記部

簿記コンクール(個人出場)

部長 斉藤菜津実 (三年)

今回私は簿記の大会で全国大会に出場させていただきました。この大会では一・二部それぞれ四十五分間で問題を解きます。問題数が多いので速度が重要となります。私は大会に向け、簿記の基礎である仕訳をたくさんやり、過去問を解き問題に慣れる、という練習をし大会に臨みました。大会当日は千葉県で行われました。約三〇〇人の選手がいて、こんなに大勢の中で競技は初めてだったので少し緊張しました。難しい問題も多かったのですが考えるのに時間をとってしまい、満足のいく結果はだせませんでした。しかし、精一杯頑張れたので悔いはありません。全国という大きな大会に出場できたのは私にとって大きな一歩となり、同じ目標に向かって共に頑張っている人たちを見て励みとなりました。この大会で学んだ事も多く、とても意味のあるものでした。時間を多くかけてきた分、自信を持って今後も頑張っていきたいです。

◆珠算部

珠算競技大会(個人出場)

副部長 保坂亜紗美(二年)

私は今回、初めて全国大会という大きな大会に出場しました。最初は私なんか予選通過するはずないと思っていたので名前を

呼ばれた時は信じられなくてすぐに立ち上がれませんでした。また、東部で一人と聞いてとても驚きました。全国大会への出場が決まっていたからの一ヶ月間、毎日毎日一日も欠かさず、算盤を触るようにはしました。一日でも触らないと指が動かなくなるのでとても不安になりました。練習は、全国大会でやる普通計算・応用計算をやりました。普通計算は、一問でも多く解いてミスがないように正確性や速度を練習しました。応用計算は、予選の時よりもさらに問題が難しくなっていたので、最初は全然点数がとれませんでした。しかし、外部コーチの鈴木先生や顧問の鳥居先生に教えてもらいながら解いて練習しました。本番の日、大勢の人が会場にいて焦ってしまい自分のベストを尽くすことができませんでした。しかし、全国大会という貴重な体験をすることができて良かったです。

◆バレー部

国民体育大会(県選抜選手)

飯田 愛梨(三年)

私は、バレーボール少年少女の静岡県代表として、ぎふ清流国体に参加しました。結果は惜しくも一回戦で香川県に敗れてしまいました。悔いもなく、試合を楽しむことができ同じコートの中で戦った仲間は掛け替えのない存在となりました。そのような素晴らしい経験をさ

せてくださった家族や監督の先生、バレー部の仲間感謝すると共にその感謝の気持ちをプレーに表せるよう、これからも日々の練習に取り組んでいきます。

◆ボーリング

国民体育大会少年少女

森 由尋(二年)

国体の会場に行く前は、とても緊張していました。けれども本番の打球をする直前になってから、一緒に投げる選手がいつも試合でよく見る相手だったことなどでも通りに投げられたと思えました。しかし、レーンが難しく思うように点をのばせないまま個人戦も団体戦も終わってしまいました。しかし今回は、今まで体験できなかったことが体験できて、自分の弱点もよく分かったので、また次の試合に向けて頑張っていこうと思えました。

国民体育大会少年少女

鈴木なぎさ(一年)

私は、二年前から目標にしてきた国体に今回出場がきました。五日間本大会に行ってきました。国体は空気から何から、普段とは違いつつも緊張しました。静岡・東海の代表になれて二年前からの目標を叶えられて良かったです。大会はすごく難しく悔し涙がしばらく止まりませんでした。でもこの悔し涙があったので来年は成長できると思います。成年女子が二人

チームで優勝しすごく嬉しかったです。帰ってきて次の日から東京国体に向けて毎日練習頑張っています。絶対出場します。

国民体育大会成年女子団体

優勝 野島はるな(六二回)

◆全国産業教育フェア岡山大会

県商業科実務競技会

商業デザイン部

第二部門優勝 栗原亜季(一年)

― 東海大会出場 ―

◆弓道部

国民体育大会(県選抜選手)

芹沢彩海(二年)

選抜大会 近松美鈴(一年)

◆電算機部

東海実務競技会

情報処理の部団体

田中真理子(三年) 木村海斗(三年)

大島わか(二年) 吉尾雅貴(二年)

室伏なつみ(二年)

英文ワープロ部

高嶋美紀(二年) 山口知海(三年)

坂倉玲奈(三年)

◆珠算部

東海実務競技会団体

保坂亜紗美(二年) 友光莉奈(三年)

薬科巧己(一年)

◆簿記部

東海実務競技会

斎藤菜津実(三年) 渡邊健太郎(三年)

◆生徒商業研究発表大会

庄司瑞生(三年) 杉山 潤(三年)

峰岸竣也(三年) 斎藤駿太(三年)

三宅拓也(三年) 山田敏史(三年)



# 事務局だより

## 今年の新入会員は

一一一六名

三月に卒業された男子七三名、女子一四三名が二月二十八日の入会式を経て新会員となりました。

## 平成二四年度決算報告

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	974,376	会報発行費	1,888,589
年会費収入	2,560,000	支払手数料	112,180
入会金	2,160,000	印刷代	51,450
役員会会費	771,000	名簿作成費	153,132
受取利息	100	総会費	0
手数料収入	11,439	会議費	1,193,520
		事務消耗品費	100,175
		通信費	123,222
		人件費	733,500
		記念品代	101,850
		支部助成金	110,000
		慶弔見舞金	155,000
		旅費	76,513
		諸経費	27,728
		次期繰越金	1,650,056
合計	6,476,915	合計	6,476,915

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	94,178,506	24年度育英基金	2,382,801
基金会計より繰入	0	24年度繰越	92,406,977
24年度期間収益	611,272		
合計	94,789,778	合計	94,789,778

  

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	35,626,381	平成24年度奨学金5名	2,500,000
奨学金返金	1,137,192	平成24年度振込手数料	3,885
債権利息(入会)	358,400	次年度繰越金	34,618,574
普通預金利息(入会)	452		
普通預金利息(返金)	34		
振込手数料(入会)	0		
合計	37,122,459	合計	37,122,459

  

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
同窓会より奨学金	1,500,000	在校生給付金	1,500,000
同窓会より助成金	1,000,000	在学助成金	917,052
債権利息	74	学費助成金	20,420
		育英基金へ繰越	62,602
合計	2,500,074	合計	2,500,074

### ■新入生の応募定員が四〇名減少

静岡県の方針で母校の応募人員が四〇名減少となり、二〇〇名となりました。商業高校の生徒減少は全国的な傾向のようですが、何とか歯止めがかかればと思います。

### ■「沼商屋」大繁盛!

昨年、二月七・八日の二日間沼津駅前パレット一階で例年通り後輩たちによる「沼商屋」が店開きました。今年も人気でたくさんのお客さんで賑わいました。これは商業高校ならではの企画で、できればこれを日常的に体験できればと思います。



賑わう沼商屋



定期演奏会

### ■母校「吹奏楽部」の定期演奏会が開かれました

昨年暮れ、二月二三日には母校吹奏楽部による第五二回定期演奏会が開かれました。誰でも知ってる懐かしい曲の演奏などありこちらも会場一杯の盛況でした。

### ■母校教職員などの人事異動が行われました

母校教職員などの人事異動がありました。他校などへ転出された方長い間ご苦勞様でした。新たに母校へ来られた方々のご活躍を期待しています。

### ■今年も一五人に奨学金を授与し、五人に阿部基金を貸与しました

例年にならぬ今年も一五人の在校生に奨学金を授与。他に五人の大学進学者に最後の阿部基金を貸与しました。大学進学者への奨学金貸与は今回で終了の予定です。

### ■在校生の海外研修を助成します

大学進学者への奨学金貸与に代わって、若いときに世界に飛び出し、いろんなことを学び取ってもらおうと在校生の海外研修を助成することを計画しました。これは阿部基金の新たな活用です。細かな点は学校側と協議し決定します。

さらにこれを末永く継続するため、同窓生各位からの新たな寄付を募ることも視野にいられています。

### ■助成金を用意しました

部活のOB会の集いに助成金を用意しました。但し、二〇名程度の参加者がいること、助成金は年一回、口座振り込みとすること、終了後、個人情報に触れない程度で参加人員、卒業回数、参加者名など報告が必要となります。詳しくは事務局まで問い合わせ下さい。

### ■金刺実雄さん(五回生)・石川三義さん(二〇回生)が県知事表彰される

地方自治や産業開発分野で業績のあった方に与えられる静岡県知事表彰に、五回生金刺実雄さんと二〇回生の石川三義さんが選ばれ県知事から表彰されました。

### ■OB美術展が開かれます

静岡銀行沼津支店のギャラリー四季で九回目の「OB美術展」が六月六日(二)日まで開かれます。この美術展は地域文化に貢献することを願って開催。今年もたくさんのお作品が展示されます。

### ■植樹祭に参加しました

今年も学校長はじめ同窓会役員、さらにはたくさんの方の在校生参加の下、四月二十九日に、いつもの裾野市十里木で植樹を行いました。

年会費納入にご協力を：  
改めて御願い申します

毎回ご案内させていただいていますが、皆さんからの年会費によって同窓会は運営されています。今までのご協力状態は、丸子の卒業生の「九割」に対して徳倉の卒業生は「一割」という状況です。徳倉の卒業生からいままう少しご協力いただけるとありがたいのですが、これからの同窓会運営は徳倉を卒業された若い人たちが牽引して行くこととなります。そんな意味も含めて、同窓会の円滑な運営のため徳倉の卒業生はもちろん、全同窓生に対して、改めて会費納入のご協力をお願い申し上げます。

同窓会へのご連絡お問い合わせは...

電話・ファックス兼用

〇五五・九三三・五七四七

(土・日・祝日を除く月・金の) 午前十一時～午後三時まで)